

第105回:軍無クバ立たズ

むかしむかし孔子の高弟の子貢が師に理想のまつりごとについて尋ねたところ、孔子はこう仰せられた。子曰く「足食 足兵 民信之矣（食を足らし、兵を足らし、民これを信ず）」理想の政治とは、富国で強兵、かつ人民から信頼される政権という意味であろう。これを聞いた子貢がその三つの要素の優先順位を尋ねると、孔子は先ず「兵を去らん」とおっしゃり、次に「食を去らん」とのたまひ、そして「信」を最後の拠りどころに置き、「民信無くば立たず」と喝破された。

その孔子さまがある夜更けに胡錦濤の枕元にお立ちになった。

子曰く「紫禁城の中南海で寝ておる貴公はどこの皇帝じゃ、金か元か、それとも清か？」

胡曰く「滅相もないことでございます。老生は民草に奉仕する公僕です」

子曰く「公務員か。して官衙官職は？」

胡曰く「中華人民共和国国家主席、中国共産党中央委員会総書記、国家と党の軍事委員会主席です」

子曰く「ふむ、長くてよく分からんが、司徒、司空、大尉を兼務しておるようなものか。わが国には有為の士が数多おり、一人で三公の兼務は如何なものか。重要でない印綬は後進に渡しなさい」

胡曰く「かしこまりました、それでは国家主席を譲ります。どうせ大した権限もない名誉職。見栄えの良い劉延東(女・国務委員)か薄熙来(重慶市党書記)にくれてやります」

子曰く「官位をたった一つ返上するだけとは情けない。貴公もそろそろ引退の時期であろう。少壮血気の士に道を譲り、潔く退場するのが士大夫じゃ」

胡曰く「(しぶしぶ)分かりました。それでは習近平(国家副主席)に党総書記を禅譲します」

子曰く「軍のポストはどうする？ 共産党の定年は68歳と聞いておるが、貴公！ 矩を踰えずの年になってもまだ権力にしがみつくともりか？」

胡曰く「鄧小平・江沢民両先輩の前例に従い、老骨に鞭打ち、あと数年は大尉、もとい軍事委員会主席に留まります」

このニュースを新華社電は「国、軍無クバ立たズ」と配信したそう。

このジョーク、あながちフィクションとも云えないところが怖い。中国の最高権力者を目指す政治局委員たちに「一番欲しいポストは何か」と尋ねたら、みんな軍事委員会主席と答えるに決まっている。何しろ核兵器のボタンを握るポストである。

国家主席とは中国の元首に相当し、文革前は劉少奇が長く勤めた重要ポストであった。文革後も李先念、楊尚昆という大物が勤めたが、劉少奇時代と違って功なり名を遂げた大物を名誉職として処遇するために準備された儀礼ポストとなった。他意はないが某国参議院議長のようなものである。ドイツのメルケル首相は知っていてもヴルフ大統領の名前を知る人は少ないのは、後者が単なる名誉職だからである。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

一方中国で共産党総書記といえば最重要ポストである。なにしろ中国共産党の下に議会・政府・軍・司法等が置かれており、人民解放軍は共産党の軍隊でもある。党による軍の支配、即ち文民統制は徹底しており、世界中で軍隊が反乱を起こす可能性の最も少ない国が中国であった。従って中国共産党が人民解放軍を支配しているかと問われれば、正解はイエスだが「但し書き」が必要である。

建国60年の指導者を見れば一目瞭然で、先ず毛沢東と周恩来は軍隊の階級を持たなかったが、これは二人が軍服を要求しなかったからであり、毛・周が解放軍創設者の一人であることに疑いはない。毛沢東の死後、中国を支配した長老たちも同様である。元帥の葉劍英はともかく、鄧小平・李先念は文官のトップに昇りつめたが、もし彼らが軍人として処遇されれば共に元帥(定員10名)、少なくとも大将(定員10名)にはなれた人物である。陳雲・彭真も軍服こそ着用しなかったが、彼らの出自は軍と密接な関係にある諜報畑である。改革開放前夜の中国における軍隊の管理は資本主義世界の文民統制とは明らかに異なっていた。背広を着た「軍の関係者」、ありていに言えば「実質軍人」が人民解放軍を管理運営してきたのである。

軍歴のない本当のシビリアン指導者が誕生したのはエンジニア出身の江沢民からである。天安門事件のあと鄧小平は江沢民を党総書記に指名したものの、軍ポストだけは鄧小平が暫く保持して後見役を勤めた。その江沢民も13年の統治を終えて胡錦濤に総書記ポストを譲った際、鄧小平の輩に倣い、軍事委の主席だけは暫時保留し影響力を保った。今秋の党大会で習近平が党総書記に就任、来年の全人代で国家主席に就任することはほぼ確実だが、胡錦濤は軍委主席だけは当分手放さないだろう。

中国社会の多様化が進み、国際システムとの相互依存関係が益々深まるなか、中国共産党は政権維持と高度成長という目標を達成するため、数多くの利益集団の力を借りており、彼らとの間で複雑な利害関係の調整や妥協に頭を悩ませている。

いまの中国に毛沢東や鄧小平といったカリスマ指導者は存在しない。高度成長を達成するため意図的に権力分散を進めてきた結果、利益集団相互間に利害相反の事態が発生すれば、その調整は容易ではない。緻密かつ玄妙な芸術的ソリューションが求められる。人民解放軍は中国最大の利益集団であり、最も複雑なパラメータでもある。過去に江沢民が軍服そっくりの人民服を着て大内山の宮中晩餐会に乗り込んだり、軍最上位の「上将」階級章を大量発行して軍部の歓心を買いつけてきた所以でもある。軍人の最も好きな物は階級章である。近々「大将」が復活する可能性もあろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年2月7日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。